NOTICIAS DE S. PAULO

(1) No. 1.686 (Primeiro Diario Nipponico Publicado no Brasil) 3a Feira, 10 de Janeiro de 1939

聖市アッセンブレア街十六番地
郵函二七六五
聖州新報社
發行所
發行人 香山六郎
購讀料 一年六〇錢
廣告料 一段七二錢

NOTICIAS DE SÃO PAULO
Caixa, 2765 – Fone, 2-5655
R. ASSEMBLÉA, 16
S. Paulo – Brasil

和平提議の時機熟す
進んで日本と握手せよ
汪精衛、公開狀を發表

（香港八日）汪精衛が過般の重大聲明とともに舊臘十二月八日常務委員會および國防最高會議宛てに提出した書翰は八日午後八時發表された、全文左の通り

本月九日（一九三八年十二月九日）余は蔣介石に對し目下支那の當面してゐる困難は如何にして戰爭を持續するかの問題であり、日本の當面してゐる困難は如何にして戰爭を終熄せしめるかにある、兩國ともに自己の困難を知るとともに相手方の困難を知悉してゐる從つて和平は決して望みなきに非ず、更に和平問題を對外關係について見るに我々は英米佛各國の援助とソ聯の默諾、獨伊兩國の不干渉し得るであらうと逃べた、然して若し日本が武力をもつてしては支那を征服し得ず且つ東亞において絶對的覇權を樹立し得ずとの事實を認識したならば和平は遂に招來し得るであらうと逃べた、余のこの見解は同日列席せる國志諸君が何れも共に聽いてゐる筈である

十二月廿二日日本政府より發せられた聲明に見るに日本が支那に關する從來の態度につき反省するとなかつたことは、今想起するに昨年（一九三七年）十二月初め南京陥落に先立つてドイツ大使が蔣介石に逃べた日本側の條件は今次近衛聲明の如く明確ではなかつた、のみならず且これに比し遙かに過酷であつたにも拘らず蔣は大局を考慮してこの條件を以て和平の基礎として受理するに何ら躊躇しなかつたのである、その後日本側は時日を遷延し南京陥落後改めて條件を提出したがその條件の範圍廣漠にして、爲に問題は停頓するに至つた、然るに今日日本は既に今次の近衛聲明で聲明したごとく反省し覺醒するところあつた、よつて我國に於ても宜しく應ふるに聲明を以てしこれを以て和平交渉の基礎として折衝に努力し進んで東亞再建に日本と協力すべきである

汪攻擊論を駁擊
和平通電の眞義說明

（香港八日）汪精衛が去る十二月廿八日和平通電を發したことにより國府並に國民黨內部は勿論各方面に於て汪の和平通電を中心とした種々の論議が行はれてゐるが中央と何らの意見交換を行はずして突如この和平通電を發したことに非難攻擊を加へるものあるに鑑み汪精衛は八日午后八時興項の如き去る十二月廿八日附の蔣介石及び中央執行常務委員會並に國防會議との意見交換公開狀を發表し汪の和平通電が決して爆彈的なものでない事を明らかにした、この公開狀の發表により將介石が一旦承認せる日本との和議を約一年後の今日に於てこれに異議を挾むといふ矛盾を指摘し且つ現在の諸狀勢が日本と和議を講ずるに最も適當の時機であることを宣言した點が注目される

畏し聖上陛下
八提督に御陪食
武勳談など御聽取

（東京九日）畏くも聖上陛下には塚原、近藤、鈴木、藤森、藤田、寺田、後藤、戸塚各海軍少將らを召され米內海相、大角、永野、高橋、藤田、百武加藤各海軍々事參議官、松平宮相 山本海軍次官、其他側近らにも陪席仰付られ九日午餐會を御催しあらせられ御陪食を賜つたが終つて千草間の間に於て一同と共に茶菓を召されつつ各將領の武勳談等に關して種々御聽取あり天氣大角、永野、藤田、百武加藤各海軍々事參議官、松平宮相 山本海軍次官、其他將以下各提督は光榮に恐懼感激して宮中を退下した

副總裁の席をめぐり
重大波瀾を豫想
蔣介石、全く裁斷に迷ふ

東朝論

（東京九日）汪精衛の重慶脫出騷ぎあるや蔣介石政府は單なる病氣のためと打消したに拘らずその後廿八日重大なる和平勸奬の通電となるや極度に狼狽し、元旦にも拘はらず緊急中央執行委員會連續會議を召集し注意除名處分に附したが、九日の東京朝日紙は「汪精衛離脫の影響」と題し次の如く逃べてゐる

蔣政權が表面抗戰繼續に躍起となつてゐるに拘はらず抗戰の前途は益々暗澹となるばかりでなかるものは速かに和平を希はざるものはないであらうが、蔣政權は國共合作の牛耳を握る兩派抗戰主流のあくなき抗日熱に引づられて敢てこれを口にし得ないのである、しかしこの中にも大勇猛心を持つ不滿の士もないわけでなく、國民黨の最有力領袖汪精衛が斷然として和平解決を强調したのは流石に卓識ある政治家たるを失はない近衛聲明にあつた領土及び主權の尊重、戰費賠償不要求とともに東亞新秩序の建設は事變に處する日本の二大眼目であるが、日本のこの公正なる解決要求を從來の戰爭の場合とが相對蹠するものであるために列國中これを疑ふもの少くない、殊に將政權が惡意を以て曲解をしたこととするに不思議はないが同時に誠に悲しむべきものである、對共產黨關係においても蔣介石と汪精衛の間に意見の相違あるや暗澹となるばかりでなかるものは速かに和平を希はざるものはないであらうが、蔣政權は國共合作の牛耳を握る兩派抗戰主流のあくなき抗日熱に引づられて敢てこれを口にし得ないのである、しかしこの中にも大勇猛心を持つ不滿の士もないわけでなく、國民黨の最有力領袖汪精衛が斷然として和平解決を强調したのは流石に卓識

革新日本の大道
內閣制度を强化
「四」
政治の重心を大陸に移行

國家の大飛躍に國內革新の隨伴することは古來歷史の立證する處であり、國家發展の必然的過程である、國民は「島國日本」が「大陸日本」に巨步を進めた事を正確に認識するならば島國日本的一切の機構が大陸日本の新事態に適應するよう根本的に革新されなければならないことを悟るであらう、具體的方策に就ては幾種々あるとしても革新はもはとも角、今後東亞新秩序に向つて建設作業が進捗するに從ひ日本の政治はもつと〜この一線に沿つてとり上げられる

現行內閣制度によれば總理大臣と平等の地位に立つ、法制的には總理大臣は僅かに行政長官として各大臣の「統一を保持」し「處分又は命令を中止」せしめ得るに過ぎない、だから從來政府の重大政策が一二閣僚に遭つて潰れたり或は內閣の瓦解に迄發展した例が少くもないのである、ここに於て我々は現行內閣制度に合議體制に一大修正を加へんとするがこれは軍部學界其他革新意見とも一致するは勿論、合議體制の可否は今や重大變革期に當面せる世界の共通的問題であるが、武力戰鬪なりし今日迄は政治はもつと〜

相剋擦摩を漱成するは出來る限り後廻しにすべしと云ふのも理窟である、然し今や忠勇無双のわが陸海軍は廣東、漢口を攻略し「長期建設」はいよ〜軌に乘らんとしてゐる「長期建設」は大陸のみと考へたら大間違ひである、國內機構の再建設も併行して斷行されねば意味がない、考へようによつては四圍の情勢が現在程改革に適當なる時期はないのだ、ここに於て我々は政府が斷乎たる決意をもつて懸案の解決に乘り出すことを要望する

第一に國家百年の大計遂行に當つて凡ての國策の中心たるべき內閣制度の强化刷新が焦眉の問題である

今此處に代表的意見を紹介するなら先づ企劃院の革新陣營は出來る限り後廻しにすべしと云ふのも理窟である、然し今や忠勇無双のわが陸海軍は廣東、漢口を攻略し「長期建設」はいよ〜軌に乘らんとしてゐる「長期建設」は大陸のみと考へたら大間違ひである、國內機構の再建設も併行して斷行されねば意味がない、考へようによつては四圍の情勢が現在程改革に適當なる時期はないのだ、ここに於て我々は現行內閣制度に合議體制に一大修正を加へんとするがこれは軍部學界其他革新意見とも一致するは勿論、合議體制の可否は今や重大變革期に當面せる世界の共通的問題であるが、武力戰鬪なりし今日迄は政治はもつと〜

權限を有するにすぎない、だから從來政府の重大政策が一二閣僚に遭つて潰れたり或は內閣の瓦解に迄發展した例が少くもないのである、ここに於て我々は現行內閣制度に合議體制に一大修正を加へんとするがこれは軍部學界其他革新意見とも一致するは勿論、合議體制の可否は今や重大變革期に當面せる世界の共通的問題であるが、武力戰鬪なりし今日迄は政治はもつと〜

第一に總理大臣の權限强化と國務大臣數の減少、第二に內閣の綜合企劃のために內閣に强大なる政治局を設置すること

第一に內閣機構の單一化（國務大臣の減少を含む）第二に內閣の政治の基礎となるべき豫算、人事法制の三部門を設置すること

を强調する、この二つの意見は現行內閣制度に合議體制に一大修正を加へんとするがこれは軍部學界其他革新意見とも一致するは勿論、合議體制の可否は今や重大變革期に當面せる世界の共通的問題であるが、武力戰鬪なりし今日迄は政治はもつと〜

第一に內閣機構の單一化（國務大臣の減少を含む）第二に內閣の政治の基礎となるべき豫算、人事法制の三部門を設置すること

を强調する、この二つの意見は現行內閣制度に合議體制に一大修正を加へんとするがこれは軍部學界其他革新意見とも一致するは勿論、合議體制の可否は今や重大變革期に當面せる世界の共通的問題であるが、武力戰鬪なりし今日迄は政治はもつと〜

その重心を大陸に移すべきではないか、この要求は現地に於て殊に氣鋭に叫ばれてゐるといふことだが、お偉い人々はみんな內地にゐて報告を集まつ弗一に國家百年の大計遂行に當つて凡ての國策の中心たるべき內閣制度の强化刷新が焦眉の問題である

今此處に代表的意見を紹介するなら先づ企劃院の革新陣營

德川中將東上
熱海でさらに療養

（東京九日）大阪發、戰線から、およそ一ヶ月間療養することとなり山本副官らを帶同、九軍校病床第七號室に靜養中の德川軒敏中將はさらに熱海に徐富士で東上した

支那言論界・衝動
安藤・カスタン會見
完全禁止を要望

（上海九日）汪精衛が誠意を披瀝し同志の賛同を求めんとする八日の公開書翰が當地の抗日支那言論界に再び異常な反響を喚起し九日朝刊においても發表の事實はもれなく報道してゐるがこれに對する主觀的論說はまだ殆どみられず僅かに見出しに於て反汪的傾向を漠然と示してゐるにすぎない、これは香港における支那紙が同書翰を全文黙殺して來る二十日の國民黨中全會再會後決定を見るのではないかと總裁に何人が就任するかは極めて注目され一部には毛澤東の呼聲が高いが、大公報は當特電によれば蔣は未だ容易に裁斷を下さず大體

香港支那紙
默殺

（香港九日）八日夜發表された汪精衛の將に對する香港各支那紙は全部之を默殺し全文はおろかかかる公開狀が發表されたことすら全くふれぬものが多い。この公開狀の內容かいかに將介石一派の矛盾弱點を衝いたものであるかが窺はれて興味深いものがある

佛印の對支武器輸送
完全禁止を要望
安藤・カスタン會見

（廣東九日）我が南支軍に敬意を表するため廣東に來航のフランス極東艦隊アルギュス艦長ロベール・カスタン少佐は九日午前十一時沙面佛租界警備隊長アンドレ・フウジヨ步兵大尉の案內で安藤指揮官を訪問、同艦隊を代表して正式の挨拶を述べた、之に對し安藤中將は懇篤な答禮をなした後

我が軍の占領地域內は第三國の權益の多い所であり從つて貴國に對しても種々迷惑をかけてゐることは遺憾である、かゝる狀態を除去するためには一日も早く平和狀態に立還らねばならぬが、そのためには傳へられるが如き佛領仏面から支那奥地への武器輸送を完全に阻止されねばならないと極めて率直に述べた、これに對してヤスタン少佐は佛領內からの武器輸入に關しては新聞報道で傳へられてゐるその眞疑の程を自分は全く關知しないが語つて會見を終つた

「どん底」蔣介石
苦肉策・幽靈人事

（上海八日）支那側では民衆の眼を眩惑すべく我が占領地區內において「蔣介石任命」と稱する幽靈人事を行つてゐるが、八日さらに江蘇省、山東省の失陷地區ならびに冀察地區を特殊戰區と名づけ干學忠を蘇魯特殊戰區總司令に、鹿鐘林を冀察特殊戰區總司令にそれぞれ任命したといはれる、なほ鹿鐘林はこのほか河北省主席、山東省主席にそれぞれ任ぜられてをり湖北省に韓德勤、河南省には李漢魂を何れも幽靈人事權で任命してゐる

東亞オリンピック
開催案

（東京九日）昨年帝都をはじめ五大市長會議で日滿支三國の大都市は眞の東洋平和樹立の大旆の下に結束すべく東亞大都市聯盟の成立が決議されたがいよいよ今春四月初旬東京において右三國の加盟都市六十四各市長が參集の上第一回總會を開催することとなつたので聯盟事務局では第一の議題として東亞オリンピック開催の件を提出すべき具體案を練つてゐる、右プランによれば六十四都市がそれぞれ代表選手を送り綜合運動の都市對抗を行ひスポーツによる親歡を遂げようといふもので會場予定地は東京、新京、大連の三地、開催期は今秋または明春の予定

エーメン國皇子フツサン殿下
起上る廣東に驚異

（廣東八日）廢墟の中から漸く起上らんとしてゐる廣東にて八日午後忽然アラビヤ、エーメン國皇子のフツサン殿下が來廣された、殿下は永らく東京に滯在し親しく各方面を視察、今回ロンドンに開催される回教徒會議出席途中廣東に立寄られたものである、記者は沙面ビクトリヤ・ホテルに殿下を訪問、殿下には戰火に見舞はれた廣東にきてみて驚ろいたことはかくも速かに建設工作が進められ多數の支那人が日本軍を信賴して業務を始めたといふことである、南支の回教は北支、中支のそれとは全然異なつた經路をとり印度洋を渡つて入支したもので廣東にも寺院や多數の墓が殘つてゐる、どうか今後は日本の力によつてこの回教徒を守つて欲しいと語られた

米西部實業界の
重鎭を訪日招待

（東京九日）大阪發、米國の機構完備により內閣には豫算、人事、法制の三部門をおランシスコ渡航日本貿易幹旋所長は北米太平洋岸における主要都市商業會議所主腦部を約一ヶ月間の日程で日本視察とするに對して企劃院は內閣に最も必要なるものは國內全般にわたる企劃立案調査の綜合的機關であり、そのためには企劃院の當該部門のみを殘してこれを擴大すべしとして內閣を內閣强化をも一重點つた無任ぜずしてゐるとは云へ、劃期的主義に墮してゐることは遺憾である、兩論何れも國務大臣數の減少、第二に內閣の政治の基礎となるべき豫算、人事法制の三部門を設置すること

を强調する、この二つの意見は現行內閣制度に合議體制に一大修正を加へんとするがこれは軍部學界其他革新意見とも一致するは勿論、合議體制の可否は今や重大變革期に當面せる世界の共通的問題であるが、武力戰鬪なりし今日迄は政治はもつと〜

第一に內閣機構の單一化（國務大臣の減少を含む）第二に內閣の政治の基礎となるべき豫算、人事法制の三部門を設置すること

を强調する、この二つの意見は現行內閣制度に合議體制に一大修正を加へんとするがこれは軍部學界其他革新意見とも一致するは勿論、合議體制の可否は今や重大變革期に當面せる世界の共通的問題であるが、武力戰鬪なりし今日迄は政治はもつと〜

之に對して法制局側の內閣機構の單一化も根本に於て決して懸隔のあるものではない、ただ首相の權限を官制のみで擴大しても十分でないから實質的に行政長官として各大臣の權を具有せしむべきである、そのためには政治運營の基礎となる豫算、人事、法制の三部門を內閣に置き首相の直屬とし法制局が興亞院其他の機構完備により內閣には豫算、人事、法制の三部門を置かるべきである、當時の企劃廳對法制局の對立意見は今なほ持ち越され法制局が興亞院其他の機構完備により內閣には豫算、人事、法制の三部門を置かるべきである、當時の企劃廳對法制局の對立意見は今なほ持ち越され法制局が興亞院其他の機構完備により內閣には豫算、人事、法制の三部門を置かるべきである、當時の企劃廳對法制局の對立意見は今なほ持ち越され法制局が興亞院其他の機構完備により內閣には豫算、人事、法制の三部門を置かるべきである、當時の企劃廳對法制局の對立意見は今なほ持ち越され法制局が興亞院其他

昭和拾四年度徵集延期ニ關スル告示

昭和拾四年度徵集延期關係者ハ左記事項心得ノ上昭和拾四年壹月卅一日迄ニ在帝國外徵集延期願又ハ在留申告書ヲ差出スヘシ

尙本件ニ關スル屆出義務ヲ怠リタル場合ハ徵兵令規定ニ依リ嚴重ニ處罰セラルルニ付特ニ注意ス

記

一、在帝國外徵集延期願

大正七年、拾貳月、貳日ヨリ大正八年、拾貳月、壹日迄ニ生レタル者（即チ今回初メテ徵集延期ヲ願ハントスル者）ハ在帝國外徵集延期願ヲ壹月卅壹日迄ニ差出スヘシ

（書式參照）

二、在留申告書

既ニ徵集延期ノ許可ヲ受ケタル者ニシテ引續キ昭和拾四年度徵集延期ヲ願ハントスル者（明治卅四年、拾貳月、貳日ヨリ大正七年、拾貳月、壹日迄ノ間ニ生レタル者）ハ在留申告書ヲ壹月卅壹日迄ニ差出スヘシ（書式參照）但シ昭和拾參年拾貳月貳日ニ年齡卅七歲ヲ過クル者ハ在留申告書ヲ提出スル要ナシ

三、在留申告書及在帝國外徵集延期願ノ「日附」ハ昭和拾參年拾貳月壹日以降ト爲スコト、尙右書類ノ受付ハ便宜上拾壹月壹日ヨリ開始ス

四、在留申告書及在帝國外徵集延期願ハ直接管轄公館ヨリ本人ノ本籍地府縣廳宛四月拾五日迄ニ到着スル樣發送スルヲ要スルニ付必ス壹月卅壹日迄ニ提出スルコト、期間後ノ願出ハ之ヲ受理セス

五、願書ハ正副貳通提出スルコト、手數料送付ノ要ナキモ願書到着ノ通知ヲ希望スル者ハ返信料同封ノコト

六、在帝國外徵集延期願及在留申告書ハ各管轄領事館宛提出スルコト

七、願書用紙ハ**ブロック**大ニテ必ス白紙タルコト、可成地方青年會又ハ日本人會ニテ用紙ヲ統一シ願書ハ取纏メ提出スルコト

八、郵送ノ分ハ封筒面ニ「徵兵關係」ト記入スルコト

九、在留申告書及在帝國外徵集延期願ノ樣式左ノ如シ

在留申告書

一、本籍地　府縣　市町村大字　番地
二、本籍地　縣郡　村　字　番地
三、現在留地　伯國　州　線　驛　郵函　植民地
四、初メテ徵集ヲ延期セラレタル年月日　年　月　日

右及申告候也
昭和　年　月　日
氏名（生年月日）
右　氏　殿

注意
□イ、末尾ニ領事名ヲ記載セサルコト
□ロ、證明餘白ヲ殘シ置クコト
□ハ、捺印ヲ忘レサルコト

在帝國外徵集延期願

一、本籍地　府縣　市町村大字　番地
二、本籍地　縣郡　村　字　番地
三、在留地　伯國　州　線　驛　郵函　植民地
四、帝國內出發年月日　年　月　日　港出發
右之通帝國外ノ地ニ在留中ニ付兵役法第四十二條ニヨリ徵集延期相成度候也
昭和　年　月　日
右　氏
氏名（生年月日）
驛區徵兵官　殿

注意
□イ、領事名ハ記載セサルコト
□ロ、證明餘白ヲ殘シ置クコト

昭和拾參年拾月壹日

在サンパウロ帝國總領事館
郵函一一六七　サンパウロ市
同リベロン・プレート分館
同　一四四　リベロンプレート驛
在サントス帝國領事館　同　六六六　サントス市
在パウルー帝國領事館　同　A　パウルー
在リオ・デ・ジヤネイロ帝國領事館
同　三〇　リオ・デ・ジヤネイロ市
在ベレーン帝國領事館　同　四二八　ベレーン市バラー州

兩軍互に侵入攻撃し 國境依然暗雲低迷

カルパト ウクライナ 政府洪に最後通牒發す

（ブダペスト七日）ムンカツチ地方のチエツコ、ハンガリー兩軍衝突事件は調停使の出動によつて六日夜一時休戰狀態に入つたが、調停使が引上げるや七日午前五時半に至りチエツコ軍は再びムンカツチの攻撃を始めるとともに續々國境地方へ集結中といはれる

歐洲不安

（ブダペスト七日）ハンガリー・チエツコ國境のウングバール附近の小邑ナジゲイエッをチエツコ正規兵及びウクライナ民衆が襲撃した事件は連日衝突事件の頻發を見つつあるがハンガリー側の情報によれば七日夕又々約二百名のウクライナ人暴徒がハンガリー領ウングバル附近でハンガリー國境守備兵を襲撃したと傳へられるハンガリー側には何等詳報なく直ちにこれを擊退したが目下双方より代表者を出して現地交渉中である

（ブダペスト八日）ハンガリーチエツコ東北國境ムンカツチ附近のハンガリーチエツコ兩軍隊間に血腥い衝突事件が發生したとの報道によれば八日午前二時ハンガリー義勇兵がドウヘウンガバール邑の國境線を侵入しチエツコスロバキア國境警備兵を襲撃したので交戰半時間でこれを擊退した、チエツコスロバキヤの交渉委員ノウオツトニ大尉と旗手フランツハツチヤが白旗及び白の軍使標を着帶して邑外れののハンガリー將校に交渉のため接近したところ突如ハンガリー兵は兩者を狙撃しハツチヤ旗手は胸にカスリ傷を手に重傷を負ひノウオトニ大尉はマントに貫通彈を受けた

この外カルパト、ウクライナ國境方面にも衝突事件があるとの情報ではハンガリー民衆が所々國境を脅かしてゐるとのことであるカルパトウクライナ自治政府は若し再び越境侵入する場合は斷乎實力を行使する旨ハンガリー政府に最後通牒を發した、その回答期間は八日までである

英首相の訪伊 心理的効果のみ

佛紙評

（パリー八日）來る十一日トリローマに於てチエンバレン英首相とムッソリーニ伊首相との間に開かれる英伊會談は歐洲政局今後の動向を支配するものとして多大の注目を集めてゐるが、フランス官邊では會談の成行に重大關心を示しつゝも諸般の情勢の變化に鑑み今回の英伊會談は心理的効果以外に多くは期待せぬ旨冷淡を裝つてゐる、即ちフランス側の觀測を綜合すれば英國はスペイン問題に重点をおき伊太利は佛伊關係を英國に調停させることに重點を置くとみられる、然しながら英伊協定發効後の今日義勇兵撤退問題では伊太利は利に強みがあり、伊太利はオイソレと英國の注文を承諾しないだらうし、又佛伊關係打開に英國が積極的に動くことは目下フランスが希望してゐないので英國は躊躇すべく、從つて會談は心理的効果以外に多くは期待出來ぬ、然しフランスとしては伊太利が反佛宣傳を止め合理的要求を出して來る場合には耳を藉す用意があり、チエンバレン首相がローマ行きの途中パリーに立寄る說はその旨を確言すると見られるが、こと領土割讓に至れば絶對同意できず、英國はその點を十分諒察するものと信じてゐるだそうな、百年の後支那の對米態度が本腰であるなら日本米國の意嚮も本腰だなんて他力本願時代が日本に現れるだうから

▲日滿支の經濟ブロック成つた曉、無言の味方邏邏、緬甸印度がほほえむ

▲汪精衛が河内に潜んで待機中だなんて事は蔣が重慶待機と同じく凡人を喰た宣傳だ

▲佛蘭西の欲張爺が腕まくりしてコルシカやウニスの別荘はやれぬと鵝鳴つて居る、

▲英國艦隊も先頃地中海でおびえなかつたら今度は新嘉波埠邊にオンパレードしたかも知れないが地中海より尙ほ廣い印度洋迄引過ぎて波風荒いと支那海へなんて「睡蓮よ救けたまえ」だそうな

▲一昔は各國元首及國使が皆ロンドンへ參集した。時代は變つて英國首相、外相が各國へ參行する。現狀維持の悲しき平和の爲めだそうな

▲米國が日獨伊に武器は輸出禁止だそうな、賣る丈け賣つてる で當分品切れか

▲香港を買つて臭れぬかと日本へ英國が相談したら將介石があんまりですと泣いたとか嘸だ

▲比律賓を斯際一日も早く完全に獨立させる事が米國としては眞門の狼狽を完全に除去する事だと米人が考へる

▲在伯日本人の甲は考へる。大衆的見地から日本人は伯國の立派な開拓補助者として其子孫を何時までも日本人として伯國のお役に立てたいと

▲在伯日本人の乙は考へる。大衆的見地から日本人は伯國の立派な開拓補助者であるが其子孫は開拓補助者でなく開拓者として伯人に化し伯國のお役に立てたいと

▲甲も乙も伯國のお役に立ちたいは眞實だが、甲が乙よりお役に立つか乙が甲より一層お役に立つか茲に伯國の自然を征服する能率の違いがある民族語による魂教育の違ひからだ

▲聖州に移し植えた桃の花は桃の花だが櫻の花は直ぐ枯れたり化けたりして仕舞ふは哀しい

集金外交員二名至急入要

保証金を要す 但し家族者

御希望の方は御來社を乞ふ。

聖州新報社

英濠協同 國防計画

（ロンドン八日）英國政府は國際情勢の險惡化に鑑み國防に關し自治領諸國との提携强化に努めてゐるが航空省は近く濠洲に使節團を派遣して航空機の增產に關し協議を行ふと共に英濠協同の國防計畫樹立に當らしめるに決した旨八日左の如く發表した

英國政府は濠洲政府の招請により近く使節團を濠洲へ派遣し濠洲における航空機製作能力增加の可能性につき研究すると同時に英濠協同の國防計畫を準備するため濠洲政府代表と協議を行はしめることとなつた

使節團の顏觸れ中には最近同樣の使命を帶びてカナダに赴いた使節團の團長ハーホマンレバーを始めバンクス航空次官等

▲米國の對日態度が九國條約を楯に本腰であれば英國も本腰で英國內閣の意嚮

CASA BANCARIA BRATAC CASA BANCARIA BRATAC CASA BANCARIA

ブラタク銀行

C.P.2975 S.PAULO

バウルー支店開設御案內

豫て開店準備中のバウルー支店を一月二日より開店致しましたから既設支店同樣に何卒御利用御引立の程願上げます

既設支店

▲マリリア支店　▲アラサツーバ支店　▲パストス支店　▲チエチ支店　▲プロミッソン支店　▲オウリンニヨス支店　▲ブ・ブルデンテ支店

開店準備中

▲バラグワス支店　▲ランシヤリヤ支店　▲リベロン・プレット支店

Casa Bancaria Bratac
ブラタク銀行

本店

Rua Anita Garibaldi, 219
Caixa Postal, 2975 - Telephone, 2-3121, 2-3122
SÃO PAULO

CONSTRUTORA DO LAR LTDA.

聯邦政府認可監督　全國至る處に代理店有り

C.L.L.

本社　聖市プラサ・ダ・セ・五〇番三階　電話二・二二三二　郵函三七一一

總代理店　リオ市プリメイロ・デ・マルツ街六番六階

一九三八年十二月卅一日付聯邦ロテリアに依る本社抽籤發表は下記の通りです

プリメイロ	16.102
セグンド	15.590
本社當籤番號	90.102

ロテリア當籤番號

當籤番號	A組月掛三$	B組月掛五$	C組掛十$
〇〇〇一	〇〇〇一	〇〇〇一	〇〇〇一
〇〇一二	〇〇一二	〇〇一二	〇〇一二
〇〇三四	〇〇三四	〇〇三四	〇〇三四
〇〇五六	〇〇五六	〇〇五六	〇〇五六
〇〇七八	〇〇七八	〇〇七八	〇〇七八
〇〇九九	〇〇九九	〇〇九九	〇〇九九
〇一〇〇	〇一〇〇	〇一〇〇	〇一〇〇
〇一〇一	〇一〇一	〇一〇一	〇一〇一
〇一〇二	〇一〇二	〇一〇二	〇一〇二
〇一〇三	〇一〇三	〇一〇三	〇一〇三
〇一〇四	〇一〇四	〇一〇四	〇一〇四
〇一〇五	〇一〇五	〇一〇五	〇一〇五
〇一〇六	〇一〇六	〇一〇六	〇一〇六
〇一〇七	〇一〇七	〇一〇七	〇一〇七
〇一〇八	〇一〇八	〇一〇八	〇一〇八
〇一〇九	〇一〇九	〇一〇九	〇一〇九
〇一一〇	〇一一〇	〇一一〇	〇一一〇
〇一一一	〇一一一	〇一一一	〇一一一
〇一一二	〇一一二	〇一一二	〇一一二
〇一一三	〇一一三	〇一一三	〇一一三
〇一一四	〇一一四	〇一一四	〇一一四
〇一一五	〇一一五	〇一一五	〇一一五
〇一一六	〇一一六	〇一一六	〇一一六
〇一一七	〇一一七	〇一一七	〇一一七
〇一一八	〇一一八	〇一一八	〇一一八
〇一一九	〇一一九	〇一一九	〇一一九
〇一二〇	〇一二〇	〇一二〇	〇一二〇

☆終りが「二」の人は一月掛金免除

☆終りが「〇」或は「〇」の人は一月掛金免除

E組月掛五ミル

當籤番號
〇〇〇一
〇〇一二
〇〇三四
〇〇五六
〇〇七八
〇〇九九
〇一〇〇
〇一〇一
〇一〇二
〇一〇三
〇一〇四
〇一〇五
〇一〇六
〇一〇七
〇一〇八
〇一〇九
〇一一〇
〇一一一
〇一一二
〇一一三
〇一一四
〇一一五
〇一一六
〇一一七
〇一一八
〇一一九
〇一二〇

次の四回の抽籤は來月一月一日から毎月二十日迄に聯邦ロテリアに依り代理人へ支拂ひます。加入者は御注意下さい。

御入會は日本文にて御申込ください。

コンスツルツトーラ・ド・ラール

社會物建貯蓄

日本人部

迄日廿日日込拂金掛

尋人廣告

山形縣人 齊藤四郎
仝縣人 矢萩榮治
廣島縣人 塚本八重吉
佐賀縣人 中島亥一

左記の者現住所若しくは御存知の方は至急當館迄御一報煩度

昭和十四年一月六日

在バウルー日本帝國領事館

O BOLDOPHYL

怠ける肝臟は人間を老人にします

腸の順調に働かない事ほど健康を害するものはありません！

ボルドフィールは

それを順調に働くやうに研究された藥であります

肝臟病と結腸炎と便通を整へるボルドフィールを是非お試し下さい。

Laboratorio YPIRANGA
Rua Sto. Antonio 47

KANAKAO S/A

＝中尾肥料店改め＝

バレー產實不上確引最も商取ます

バタタ用（BA印）（DC印）

トマト用（基肥DC印）（追肥DC印）

野菜用（AH印）（追肥D印）

アルゴドン用

硝石

アムモニア石灰

燐酸加里

酸化加里

過燐酸石灰

硫酸加里

硫酸加里（特製品）

骨粉（弊工場特製品）

一噸當り三要素含有率▶窒素、燐酸、加里

五〇、〇〇〇	同	三〇、〇〇〇	同

團結は力・千家族に春

今日ぞ・中央線聯日會誕生の日

波瀾重疊たる半歳を經て昨年五月成立を見たモヂ聯合日本人會を基礎として汎中央線大同團結の機運動き去る十一月九日のモヂ産組會館に於けるイタケーラ、モヂジヤカレー各地代表連の相談會によつて愈よ最後の決定を見た「セントラル線聯合日本人會」の創立總會は本日午前九時よりモヂ産組會館階上に於て、總御事館より淀川領事の出席を得、十六團體九十名の各日會代表者に依つて行はれる

因みに參加日會はモヂ＝モヂ市日本人會、コツケーラ中央日本人會、ウンジエラルド日會、ポツジユール日會、共榮日會、カツベーラ日會、スザノ＝北部日會、福博植民地日會、神戸日會、ロマノポリス日本人會、アルジア日會、ボンスセヅソ日會、ガルーリヨス日本人會、イタケーラ日會、ジヤカレキ日會の十六團体でその内モヂの六日會、スザノの一部計九日會に依て今次大同團結の基礎的役割を果してゐるモヂ聯合日會が組織されてゐたものである

尚右大同團結は他に例を見ぬ迅速さで、さすがは内外非常時下一千家族一絲みだれや銃後の團結振りを示したものと稱讃されてゐる

教育界非常時下

文教會夏期講習會

十五日から十日間開催

文教普及會の指導者夏期講習會は十五日から十日間コチヤ小學校で開催せられるが本年は母國の非常時と共に伯國邦語教育も非常時であるので文教會はもとより講習生も眞劍で合宿十日間を大いに緊張してやるとの事である

講師とその講習課目を擧げるは左の通りである

一、在伯邦人子弟教育の目的及び方法　一般　葛岡　唯雄
二、青少年共同作業における農園の經營　北村　豊治
三、國語教授の實際　五十嵐重虎
四、害生蟲檢査の實際指導　奥村　醫師（助手　奥村文雄）
五、トラホーム治療の實際指導　細江　醫師（助手　奥村文雄）
六、産業組合精神とコチア産業組合の實際　下元　健吉
七、エスコツチーロの組織　清水　明雄
八、青少年修養行事一般　葛岡　唯雄
九、青少年團劍道指導の實際　奥村　文雄
十、讀書會の實際指導　五十嵐重虎
十一、映寫機顯微鏡幻燈機の取扱について　山田　愿　松本　和弘
十二、健兒社及憧夢クラブの指導方針　松本　俊明

文教第一支部

育英生候補者決定

先般施行された本年度文教會育英生採用試驗の結果第一支部の候補者は左記の十名と決定した、地方支部の分は未定であるが近日發表される筈である

埴田成輝　大室百合子　寺本八千代　牛越悦香　杉田登貴夫　淵野鎮雄　唐澤千惠子　吉本政弘　井上忠志　吉良功　以上

桑島大使本日着任

（リオ九日發）新駐伯大使桑島主計氏を乘せたローヤルメイルのアストリア號は豫定より一日早く明日午前中に入港する模樣で大使は外相訪問も即日行はれるものと見做されてゐる

中西武官

聲明書に對する反響に付釋明す

（リオ七日同盟）文教會教育會議の新聞記事に對する中西大佐の感想がその主旨に於て大部分の有識階級並その他方面に於て相當の共鳴を得居るにも不拘猶一部方面に多少の誤解を抱ける模樣なるに鑑み記者は六日帝國大使館に全大佐を訪問し、輿論の趨勢を傳へ大佐の回答を求めた、左は記者と大佐との問答の要旨である

記者　極く一部方面では貴下が所感を新聞紙を通じて發表した事實に不審を抱いて居る樣である

大佐　假令にもあの教育會議に關する邦字新聞の記事が伯國側に知れる樣な事があらば一體如何言ふ結果を招來するか、わが對伯移民の運命にも關す可き重大結果が現る可き事は云ふまでもあるまい、最近移民問題に就いて諸種の流説が行はれて居る折柄、特にこの感を深ふするものがある、僕が敢て僕の個人的所感を併行的に發表したのは万一に對する準備に遲きない、若し以前の記事が伯國當局に知れた場合　當局者たる僕等は何と之に答へ得るか、教育會議主催者方面を攻撃しよう等と考へた譯では決してない

記者　貴下の過日の御所感主旨と、大正小學校に於ける先達つての貴下の御講演主旨との間に相當のひらきがある樣に見て居るものもある樣だがこの點に就いて御釋明願ひたい

大佐　僕はあの講演と今度の所感との間に相違があらう等とは毛頭考へて居ない一體同一の物を觀るにも觀る者の位置によつて見え方が違ふものじやないか、又同じ事柄を云ふにも主觀的に云ふ場合と客觀的に云ふ場合とある、從つてそれに表現の仕方の相違は免れないものだ　大正小學校に於ける講演はその主題が日支事變を中心として戰場の事を逸べたので飽くまで日本を主觀としたものであるし、聽講者は日本國民であるとの主觀で話したまでである、伯國との關係等は全然顧慮する必要のない事を話したのだ、ところが今度の教育問題は問題が大いにその性質を異にして居る、大いに法的方面を顧慮せねばならぬのだ　問題自體が日本主觀許りでは行はない性質のものじやないか、伯國の宗主權下に於ける問題でありその宗主權下に於て實質的成果を擧げねばならぬ實際の問題が單なる戰爭談ではないんだ　飽くまで在伯同胞子孫のための實際問題である、伯國と日本へは歸らず伯國に骨を埋めんと考へられる方々の問題である、彼此混同は御免蒙り度い

記者　大正小學校講演中に血は血であり米代まで大和民族である云々、と述べられた點に就いて御説明を願度い

大佐　あの講演の際「皆さんは大和民族であり天皇陛下の赤子である帝國臣民である」と述べた事は事實であるがその點は前にも述べた樣に、帝國を主觀として云ふ場合の事である、伯國と云ふ事を顧慮する必要のない時はそうなのである、天皇陛下は東京に在しまし伯國に居られる同胞を赤子と思召になり如何して居るかと日夜御軫念遊ばされて居るのだ、全く在伯同胞は陛下に對しては赤子である　ただ伯國に於ては伯國の國籍を有し伯國民となつた人々は法的には即ち日伯國際關係上の問題として取扱ふ場合には伯國民として取扱はねばならないのだ、伯國を對象とする法的問題を研究する場合に於ては帝國臣民として取扱ふ事は出來ないではないか、しかし講演の場合にも述べた如く法と言ふものは人の作つたものである、時と所の如何を問はず絶對的ではない、伯國民となれる人でも日本に歸られ日本に國籍を有する樣にならば名實共に帝國臣民である、僕は彼是理窟を言ひたくはないが要は伯國民となられた人々の子弟教育の實際問題を如何樣に取扱ふ事がより大きい効果を擧げ得るかと言ふ事を伯國宗主權下に於て具體的に研究する必要ある事を同胞諸君と共に考へて見たかつたのである

記者　教育會議に關する新聞記事は會議の結論と云ふよりも會議中の一場面と見らるる樣だが同感である、恐くは日本を主觀として考察されたものではないかと考へられる

兎も角僕が新聞を通じて所感を發表した目的と精神を汲み在伯同胞子孫の爲めに、日本國民の感情等は之を放棄し虚心坦懷に而かも眞劍に相共に協力し實質的成果を擧ぐる事に邁進したいものである、万一新聞に發表したために迷惑を懸けた事があるとすれば日伯兩國親善の爲め又在伯同胞子孫のため大乘的見地より許して貰ひたい、また發表した事柄に就いて誤があるならば虚心坦懷に御教示を受ける事と相協力して實際問題の解決と實質的効果發揮を目標として進んで行きたいと考へて居る

旅券を抵當に金を借り

ドロン決めこむ

ひつかけられた陳情

昭和八年十一月に渡航しモヂ話してやる」との口車に乘り置いて金を借りそのまゝどこアナ線某耕地に配耕された酒見破男は五ケ年の耕地生活も滿期となりどこかへ轉耕しやうと思つてゐた所佐賀縣人山本某が一おれがよい耕地を世話してやる」との口車に乘り置いて金を借りそのまゝどこかへ行方不明になつた、酒見は仕方なくその耕地へ尋ねて行つたが契約がひどく違ふのでそんなコロノはいらないとピラチニンガ驛スツピリアノ耕地に行きその旅券を抵當に金を拂はねばならぬとの事でそれでは自分の分だけ拂ふからと云つても皆の分を拂はねば渡されぬと渡せぬとの事でそれでは自分の分だけ拂ふからと云つてもるが何とかしてくれぬかと領事館宛陳情してきた

水郷レヂストロ

銃後鐵壁の構え

水郷レヂストロの邦人植民者一同は今回七コントス百五十餅也を輪送機獻納資金として中央日會宛送附したが、是れで日支事變勃發以來同地より赤誠は實に四十五コントス八百四十八餅八百レースの多きに達した

尚植民者一同は長期戰下の母國を强く心に銘じ火花を散して銃後强化に努力してゐるが流石に古くて安定せる植民地だけあつて、其の底力は相當なものである

モザイク

■わが聖戰の現狀を知らすべく去る九月來伯以來約二ケ月に亘り六十九回の驚異的講演記錄を殘して十一月ブエノス丸で歸國の途についた岡山合同新聞從軍記者名

■賀安郎氏及び三等船室青年有志として昨日本社に宛左の如き退伯後の第一信がとどいた

聖州新報社に大敬意を表す、廿万同胞の御健闘を祈る

■日本行に小打擊――伯國の出國稅及び前項證明の印紙が前者は四四餅二百かも五〇餅へ、後者は七餅二百かも十一餅二百にそれぞれ値上げされた

■海興調査部の清水文信氏は今回バウル領事館の囑託となつて近日赴任するが同氏は子飼の海興ッ子、多少淋しい事でせう

■在伯山口縣人會では此のたび名簿を作成する事となつて各邦字紙に廣告を掲載したが尚未着の分も多々あるので至急左記へ次の調査事項を通知してもらひたいと

調査事項
一、氏名　一、本籍地　一、現住所　一、内地在住近親者及續柄

宛
FUKUGAWA a/c Consulado Geral do Japão C. P. 1167 S. Paulo

本年度の球運大吉！

記者團に凱歌

ブラ拓延長戰で復讐す

（寫眞は當日の兩軍顔ぶれ）

本年度の勞顏を飾るブラ拓對記者團の野球戰はスダン球場で八日行れたが豫想通りの熱戰であつたいつも脱線し勝ちの記者團久方振りに軌道に乘つて前半の不調を後半取戻し最后の打棄り見事にきまつて十六對十逸に凱歌は記者團にあがつた

試合后六時半からお多福亭で呉越同舟鯨飲快談したが兩軍臨時編成の酒呑みチームの會戰ではブラ拓側七對二で見事復讐なり溜飲をさげた

阿部氏送別

龍土會

龍土會では來る十一日午後八時から日本クラブで創立以來會の爲種々盡力した阿部太氏が今度轉勤になるのでその送別の意味をかね茶話會を催すが會員三十余名集會し盛會を予想されてゐる

設備完成のカシンギ試驗場

カシンギ農事試驗場の勤業部が完成し土塀分拆部、主任は勤業部の宮師技手で土塀分析を實費でして呉れる

アテリエル　千田

陸軍政務次官

加藤氏急逝

（東京九日）一九三七年一月近衛内閣成立以來陸軍政務次官として活躍した代議士加藤久米四郎氏は突如心臟痲痺のため自邸で急逝した、享年五十五

英國兩陛下

五月米國御訪問

（ロンドン八日）英帝ジヨジ六世並にエリザベス皇后は陽春五月八日より六週間にわたつて米國御訪問の途に上らせられることゝなつた

因みに同技手は十日午前外出同所に出張してゐる

グ・ペ・ウ官長

ペリヤ

在ソ獨人を調査

（ワルシヤツ八日）モスコー來電によれば新聞以内に在ソ官ペリヤは二週間以内に在ソ獨乙人のリスト作成を厳命した、これは本年二月一日までに國外に追放されることになつてゐる一千名の獨乙人工場勞働者に適用されるものである

本店　サントス
支店　サンパウロ　リンス
東山銀行

求女中
身元確實なる婦人一名當館官舍女中として至急雇入度希望者は左記へ
昭和十四年一月
バウルー領事館

募集
ミシンの刺縫熟練女工子供服の縫へる方御照會は
Rua Asdubal Nacimento, 495 São Paulo

歯科
聖市イルマンシンプリシアーナ廿二（伊藤商會二階）電話二一五六二二
診療所
診療時間　午前八時＝十一時　午后一時＝八時
伯國歯科醫學士　北川重信
オリヱ大醫出身

男女の別を問はず
外交員として働いて下さる方を數名大至急募集します
仕事簡短　高給支拂
委細面談
Rua São Bento, N 39 - sob.
午前九時より十一時迄　午後二時より五時迄

▲是までにない難病根治法
短日輕費治療的確
婦人や子供や炙灸も喜ぶ
無痛無痕藥玉鍼灸
院主二十有余ケ年苦辛考案に依り漢法高貴藥數種を配合し施鍼後以快溫病原中樞に透浸せしむるが故に如何なる急性慢性の難病や腫物にも心地よく注射同樣の即効を謳す
東洋醫學校鍼灸高等專門乃大靈道斷食道場出身
整骨、皇漢醫
物理醫學士
中村物理療院
ノロエステ線　リンス市第二シネマ前「附屬モデルナ寫眞館」
本院獨特多年の体驗に依り絶對安全責任指導
心身改造　万病必治
物理醫學應用斷食療法
イ、斷食中體力の減退と病勢增惡を防止し白血球の增加を圖る爲め藥玉鍼灸其他適當なる手當を行ふ故決して危險や苦痛なく何人にも容易に出來る難病根治の最良法
ロ、斷食中多量の水藥にて體内を洗滌し下劑除虫藥及鑛腦洗腦等數回行ひ積極的體内の老凝物を完全に排除する故如何なる頑固の難病も屹度治る
ハ、普通病「斷食七日乃至十日間」慢性惡質「以上斷食二回を繰返す」
ニ、斷食後は可爲元氣快復する故三、四日にて遠路の歸途差支なし
ホ、斷食據の方やマレツタ、フエリーダは斷食せずに治す【御照會は返信料を要す】

SECÇÃO BANCARIA
Cartas Patentes 155, da Delegacia Fiscal de Thesouro Nacional em S. Paulo e 1737 do Ministeiro da Fazenda. - Registrada na M. Junta Commercial de S. Paulo sob. n. 50966
EMPREZA "LIDER" DE CONSTRUCÇÕES
Autorizada e Fiscalizada Pelo Governo Federal, sob. Decreto nº 12. 475 de 23-5-1917
Séde Central Rua São Bento, 39 sob.
Phone 3-3255 C. Postal, 938 S. Paulo
MUNHOZ & CIA.
DEPARTAMENTO de
Construcções
Sorteios
Imobiliario
Bancaria
Apresentações
etc.
リーデル建築債券會社
取締役社長　ドットール・フランシスコ　ムニヨース・フイリーヨ
一九一七年五月廿三日第一二・四七五條ヲ以テ聯邦政府ノ監督許可濟　特許番號一五五一一七三七
聖市商業登錄所　登錄番号五〇九六六
皆様の家庭を保護する債券を今日御求め下さい
★月五餅、十餅の安價な掛金で毎月最後の聯邦政府富籤當籤番號に依つて當社の五十及び三十、十、五・三コントスの建築物其の他多數の賞品を獲得出來ます
★此れに依つて皆樣の御家庭の唯一の娯樂が計られます
★賞品が多いのでいつも當る可能性があります
★掛金期間は百八ケ月間で、支佛完了後掛金總額拂戻し致します
★御申込後六ケ年間經過すれば當社の利益の五〇パーセントの配當を拂戻しの場合添附される特典があります
★御照會は日本文にて可
★當社に銀行部もあります
何卒御利用の程を！
各地方に本社外交員が巡廻して居ります
何卒御配慮下さる樣御願ひ致します
リーデル建築債券會社
日本人部
聖市　電話　三一三二五五　郵函　九三八

Noticias de S. Paulo
Primeiro Diario Nipponico Publicado no Brasil
DARIO P. ALMEIDA
DIRECTOR
ROCRO KOWYAMA
PROPRIETARIO
Caixa Postal, 2765
Telephone 2-5655
Rua Assembléa No, 16
SÃO PAULO-BRASIL
ASSIGNATURAS
Anno 6 $000
Semestre . . . 27$000
Numero do dia $500
Exterior, anno- 2 $000

文藝

グワラニー旅斷片 (6)

廢墟の植民地

兩モンソン

△……公孫樹

名所、第一モンソン植民地も第二モンソン・植民地も開拓二十五年を經て、今日は、モウ荒蕪地と化してしまつた

僅なきは植民地

今、第一モンソン植民地に地主として、殘つて居るのは、平田藩氏丈けだ

第二植民地モンソンに、地主として殘つて居るのは安藤竹上某氏だけである

僅なきはモンソン植民地よである

同植民地は千九十年頃から聯邦政府が直營として開拓し創めた、ソロカバナ線の國際植民地の一つであつた

これと兄弟分の國際植民地が、ドラヂンセ線にあるノーバ・ヨウロツパ植民地であつて、モンソンが弟分でこれが兄分の植民地であつたノーバ・ヨウロツパ植民地は、今も珈琲樹榮え、カンナ繁り、棉花の畑も廣々と耕されて居るが

その弟分たるモンソン植民地は、第一も、第二も廢墟だ

荒蕪地だ

中央市街は人の住めない、軒傾むき、扉は破れた家ばかりだ

彌榮を誇つた植民事務所の廣大な屋敷も、雨、風、日に朽ちるがまゝに

ほつたらかしだ

第一のも、第二のも

一時はそこに、日本植民丈けでも、第一に百五六十家族居た

第二に百數十家族も居たのであつたが

第一植民地の日本植民先驅者、長崎縣人の淵清次さんも死んだ、山本治三郎さん家族も全滅だ、松原さんも坂口仁の藏さんも亡くなつた

第二モンソンへの先驅者國武さんも逝つた、中川さんも死んだ、山田さんも去つた誰れも去り、彼れも散つて、汗水たらした日本人の開墾開地が人を招くのだ

棉花の名所も

開拓二十餘年の夢であつた何が、兩モンソンを斯くも廢墟としてしまつた？

人なき周圍の曠大沃豐な未出たモンソン棉作植民地、年七十万アローバも產出した

元朝謹唱 七首

坂根嵯峨

新しき年のあしたに先づ思ふは天皇治す同胞の國

將士が寒さ忍びて屯する山にも野にも年の明くらむ

われも亦戰の場にあら玉の年迎へたるこころして起つ

離るれば離るるほどに彌高く仰ぐぞ國の光なりける

國のため碎くこころは變らねど今朝嚴廟にあらたまる年

くさ〳〵の善き事してむ斯く思ひ誓ふ習ひに年ぞ立つなる

丈夫は一日一日を國の爲め生きて甲斐ある身となしてこそ

聖報歌壇

紅月 伯舟

草もなき馬放し場の片べりに二つ三つ咲けり名も知らぬ花

小夜更けし草の小徑に氣配あり遊びに友の來るらしき聲

覺めて見れば我枕邊に畑行きし母が置きたる粥冷えてあり

評 三首ともに手を入れました。原作と合せて見て下さい。何よりもありのまゝの詞で詠んで無理に難かしい言葉はつかはないの稽古しませう

三社 南林

猫も居の生えにまかせし家周りの草取り除けて正月は來ぬ

……☆……

第二モンソンより、第一モンソンの方が、棉花栽培開始は日本人ではソロカバナ線ラ

＝詩＝

コスモス

増田 金星

我はコスモスの苗を
君に與へたり
わが植えしコスモスは
枯れたれど
君が植えしコスモスは
根もよく付きて
君の窓邊に美しく
咲き誇りたり

我が心の思ひ
とどきしと
ひそかに喜びつ
はびこりて
咲きしだれし
君の窓邊のコスモスを
朝夕眺めて過ごしたり

それから三年は
早くも過ぎたれど
今もなほ
君の窓邊に懷かしき
桃色のコスモスが
咲いてゐるだらうか

そして君もあの頃を
思ふだらうか

昭和十三年
十二月二十七日

流行

畑田照夫

流行は
人間を猿にした
女の髮はちぢかんで
男はみんな
ちぢかんだ女の髮を愛した

Nの像

長尾 山鳥

群を抜く一本の巨木
風吹けば吹け——
雨降れば降れ——

青空に双手をあげて
ほしいままなる朝の深呼吸
群を抜く一本の巨木——

僕も

土谷生

どうにもならない諦と
先驅者の詩を秘めて
いつか根を下した人たち
根は下したと思つたけれど
それは風が吹くと
ゆらゆら搖れる
浮草の根だつた
極みなく茫漠としてゐる
灰色のさざなみに
搖れながら
どこまで漂ふて
ゆくのだらう
そして僕も又
群を抜く一本の巨木

＝民謠＝

「今日も雨」

赤木 一平

今日も眼覺めりや
雨の音
暗き心で寢室をいでて
父とかわせしにが笑ひ
窓を開けば
雨の中
黃色にキヤボの
花笑ふ
草は伸びるし
雨は降る
現在の心を何とせう
どうせ降るなら
大きく降りやれ
なまじ靜かが
氣にさわる

……☆……

ンソンの方が、棉花栽培開始は日本人ではソロカバナ線ラ

アマゾンの詩

蒼石

オズワルド・オリコ氏はベレン出身の伯國文藝院會員今賣り出しの青年文豪詩人です

次の河海豚の詩はアマゾン獨特の幻影詩です。シエクスピアのオフエリヤをグロテスクに神秘化したやうなものですがアマゾンの臭がします

甚だ拙譯なので作者に氣の毒ですが面白いと思つたので譯して見ました

BOTO は御承知でもありませうが哺乳類で河邊の牧草を食つてるグロな水中動物です、時々水面に出て來て長呼吸する時丁度海女の口笛の樣に又は幼兒の啼き聲の樣な聲をたてるとか

TAPUINA はタプヤ族土人の謂です。之を手弱女にまちつてタプヤメとして見ました

別の一篇の傳說も同じ頃發表したものですが我々アマゾン移民の哀愁を謳つた樣なものです

河海豚

オズワルド・オリコ作

アマゾン郷
神秘の空は冴え渡り
湖上に落ちし月の影
霞める目にはわけかねる
空と湖面のけじめかな

ころころして
聞け、怨しくも洞なる
聲の水面に浮み來て
千々に碎けるむせび音は
現世のものにあらざり音

白鷺の賦

オズワルド・オリコ

高原を群鷺の過ぐ
新しき蒼穹を探求ねて
白き雲斷れ飛ぶ如
千年麗し暗き森の上
今宵又
戀人抱く時しもや
魔術師河海豚うはづりて
身を貴公子に裝はへば
月光湖上に華と咲く
はづかしくも
すすりなく土人女の
震ふ肩より衣は落ち
立つよ水底の鏡の間
解くは最後の紐にして

（蒼石譯）

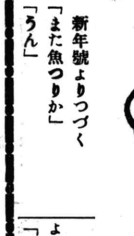
月の夜や河海豚交はる水死人

蒼石

ば一年早やかつた

モンソン棉花栽培の先驅者は日本人ではソロカバナ線ラストストホテル主人藏力哲夫氏その人である

シヤリヤ驛に居ろ、今のバ



遙かなる前途の不可知驛
飛ぶ鳥の斷えぬ不安
輕々と延びし翼は
憧憬と憂に痛む
故郷遠き心疲れか
聞きぬ吾月明け音夜々
水の透に皆佇みて
染々と神に祈ると
喜びと嘆き織りなす
無窮この懷舊
詠うらめ羽の傷みに
流離の蒼白き驚
吾等又旅の群鷺
悲哀を胸に刻り
遙々と翔り來りて
故郷の空なつかしく

（具津譯）

新年號よりつづく

「また魚つりか」

「うん」

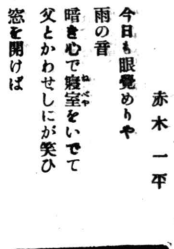
西瓜とブローカ

金子 秀雄

佐々木はほゝえみを向けてよこしたが

「倒れた棉は今更どうにもなら？」

「やつぱりひどかつたんでせ



葉洩陽

水谷ト城

葉洩陽の水淺ければ漢に覗く
葉洩陽に美男の巡査まじろがず
花蓼に夏めく嵐わたりけり
散ればちる髮を車上に水着の娘
ほうたろのをり〳〵草に戻るかな
ほたる火に草舍あやふく夜泣鳥
蝙蝠や店屋は鐵扉卸し去る
雨の燈に絢爛更くる街青葉
寄せ球を尻目に乾せるビール哉
はつらつと鰯夏山越へ來たり
小走りに鰯賣れゆき片陰り
鳥の巢の棟も煤糞書寢ざめ

「全滅よ！」

一本のつり竿を手に佐々木はそのまゝすた〳〳と行つてしまつた

「そんなにひどかつたか？」

父が初めて口をひらいた

「後で畑まわりしてみたらいゝひどい！ゝ」

皮と種だけをメーザの上に殘して

父は畑まわりに出かけて行つたふさ子は洗面器をもつてきてその後を片づけはじめた

「今こそ俺達はほんとに考へばならんね・」

びんの花に眼を向けたまゝ小林はふさ子にさう云ひだした

「……」

「……」

ふさ子はその手を止めてしばしちつと夫の顏を見守つた

「軒の下からマットのはたからブレーヂョ迄もアルゴドン〳〳——そしてブローカにやられてすぐにもこんな青い顏をせねばならない、なんてあんまりデタラメな百姓だものなア……」

「……」

「棉もいゝだらうが先づフエジョンも米もミーリョもマンヂョーカも、芋も豚も、みんな自給自足しなければならないよ」

「……」

「俺達は全く百姓の道から外れてしまつてゐたよ……まるで事業家のやるやり方だ天罰とみてもいゝな」

小林は失望と興奮とのうづまきにかりたてられるかの樣にしやべりたてた。ふさ子はやはり無言のまゝ西瓜のくづの洗面器を勝手場へと運び去つて行つた、ただ〳〳夫を信賴しきつて居るふさ子には夫の苦しみとそのあせりとがその儘自分の心に傳はつて來れば來る程夫に答へる言葉を知らなかつた。かまどの前につゝ立つたまゝ彼女はしばらくぼんやりとしてゐた

その西瓜をころりと土間にころがした

「ああ、正月も後一週間だ。日本へ年賀狀を出さうよ（ツカがブローカで）なんか書くんちあないよ、（西瓜を食べながら正月を迎へます）どやるんだな」

「本當にブローカで倒れた棉は書いてやらないことーね」

さう云ひながらふさ子は初めて小林の身近く寄つてきた

（完）一九三八年十二月作

市況（聖市九日）

精米

靜穩

アマレロン
エスペシヤール 八〇—八一
スペリオール 七五—七六
同 セー七二
ボンブランコ

雜物

九日調村商店調べ）

同 シマア（舊） 一〇ルー—二六
同 レギーリョ（俵） 六—八
同 ピメントン（舊） 二—三
同 バージ（全） 八—一〇
同 エルビーリヤ（全） 一〇—一五
同 ビーノ全 一〇—一三
同 レグラル 四六—四七
同 カテテエスペシヤール 五五舊
同 スペシヤール 二五—二六
同 半碎米 二五、五—二六、〇
同 キレラ

雜穀

弱氣
マモナミヴーダ ナシ
同 メダア 四九
同 グラウーダ ナシ
同 アメンドイン
同 タツースペリオール 一七、一一八
同 ボン 一五、〇—一六、〇
ブランコ ナシ

麥粉

小麥粉（內國產）靜穩
上 （買値） 三七、〇〇〇
中 （賣値） 三八、〇〇〇
三四、〇〇〇
三五、〇〇〇

豆さキビ

ムラチンニヨノーボ 靜穩
エスペシヤール 三三—三四
スペリオール 三一—三二
ジヤーロ
フラヂーニヨ 四〇—四三
シユンビーニヨ 四〇—四三
カナリオ 四四—四六
ミーリヨ 靜穩
アマレリーニヨ 三一、六—三一、七
アマレーロ 一〇、四—一〇、五
クリスタール 一一、〇—一〇、一
ボン 三九—四〇
ムラチンニヨベーリヨ
エスペシヤール ナシ
エスペリオール ナシ
ブランコ グラウード 三四—三六
同 ミウード ナシ
ブレット 一八—二〇
マンテーガ ナシ

「……と云つて今の境遇ちあなア——土地を買ふはおろか一人のパトロンにコロノだメイアだとつとめてやつとさせて貰つてゐるアレンダのやうなざまではなア」

ふさ子は堪らなかつたあやうくもにじみ出さうになる涙をぐつとのみ込むのだつた——まア仕方がない、いゝ經驗にもならうよ、この經驗を忘れない樣にしやうよ、俺もいまに二十七歲になるよ、もう少しはしつかりとした考へもつかふよ——」

わざとはわかりながらちびつくりする程急に晴れやかになつた夫の言葉にふさ子がそつと見ると彼はやはりアカボアノイチの花に眼を向けてゐるのだつた

×

（倒れてしまつた棉はもうどうすることもできない）それは佐々木の言葉のその通りだ半數でも三分の一でもとも角もいくらでも立つてゐる棉には風にも倒れない樣な大きな山をたてゝ最後迄その樣子をみることだ

小林はいつかその根强よい日本の百姓の本性を取り戻つつあつた、これ位の事でへたばつて如何するか。この悲慘な經驗を忘れることなくこの悲慘な經驗に基いて一俺も本當に二十七歲になるんだぞもう少しはしつかりしなければやならんぞ！

小林の心の底からは次第に强く晴れ〳〳とたたかひにかち立てられる樣な感情がわき出してきた

初めてびんのアカボアノイチから離した眼を棉畑の方にそそぐと父が二つの西瓜を抱えてとぼ〳〳と戻つて來るところだつた

「全くひどい倒れ方だ」

「さう云つて入つてきた父は

月光の芝生に座して我が思ひ
噴泉のごとく噴きいでにけり
クッションのいつよき精神に
吹き込み來雨のしぶきに閉ぢ
戸の間もれ光りに書かざー
讀む
時たまの雨止みし間を子は出
で明るき外を叫びかけるる
ようひせる西空たかく白金に
光れる星はなつかしきかな
選び歩み來裸足の子等は
灼け土の熱きはめきに草の上
の樹下の蔭はありがたきかな
憤死せるものにてあるや赤蟻
のカルサに喰ひつき動かすな
りぬ
星のよき土曜の晩の西瓜畑ラ
ンプともして西瓜さがせり
ランプ持つ我と西瓜を抱ける
妻はタマンゴ露にぬらし歸れ
り

書籍讀みて疲れし瞼に山陰ゆ
草もなき馬放し場の片べりに
二つ三つ咲けり名も知らぬ花
小夜更けし草の小徑に氣配あ
り遊びに友の來るらしき聲
覺めて見れば我枕邊に畑行き
し母が置きたる粥冷えてあり

評 三首ともに手を入れました。原作と合せて見て下さい。何よりもありのまゝの詞で詠んで無理に難かしい言葉はつかはないの稽古しませう

三社 南林

猫も居の生えにまかせし家周りの草取り除けて正月は來ぬ雨降る朝のかまどの前に

元旦二首 住吉 砂丘

朝もやの未だ晴れやらぬ元朝
の何時にも增して農家の靜け
さ
貧しけれど心爽かに迎へなん
よろづ改たむ新年の朝

末藤 千種

いかほどに殺せども〳〳赤蟻
は夜の間に蜜柑を切つてしま
へり
未だ少し早き蜜柑を切つてしま
へり

棉の出來語れる友の日燒けせ
し顏に浮べるよろこびはよし

山本 孤愁

昭和十四年の今朝とく起きて
向ふ空ほのかに見ゆる新らし
き星
齡一つ又重ねしと笑まひつゝ
初日に向へる八十才の老婆

猫 増田 金星

いと丸き猫の背なでて面白し
雨降る朝のかまどの前に

猫背とはよくも云ひしよ猫の
背の丸きをなでて興湧きに
居てコリ〳〳と音立つ砂蚤ほ
どならめ

小學の頃

喧嘩せし友の頭の何處にかは
げがありたり禮二と云ひし

武 夫

切り株の白きがかすか動くご
とゝあねの書餉を持て來るが見
ゆ
雨止みて雲間をもるゝ陽の光
早や夕暮か紅々と映ゆ

樂松 雅雄

仙人掌の花が咲きしと花すき
の父を迎へに來し人のあり
澄み透る日の出の前の空の色
今朝は小鳥も飛ばず靜けし
糸瓜の花黃に垂れ咲きし黍小
屋の黍は少なしねすみ走れり

浩

何となく落ちつかぬ日なり雨
ゆらぎつゝある豆の花に止り
垂れを掌に打たせつゝ煙る丘
居てその眞白きを吸える虫
見る

用持て吾來かゝし月の夜
の森の下闇ひたすらに暗し
移り住みて十年の月日いつか
經ぬ今年も咲けりビタンガの
花

マルゴーゾの穗波の白く一所
ときやかに見ゆ山のなぞえに

宵 星

明み來し朝空に淡く唯一つ明
の明星の穗りゐにける
幾日か曇りし空は雨となり今
朝重々とパラは垂れ居り
聲をたどり見上げてあれば背
き蟬大木の股に這ひて鳴き居
水の音聞きつつ下りし谷の間
の清水は瀧となりてありけり
洩る陽に水泡光る谷川の石
の間に岩魚ひそめり
山溪のとぼしき清水は苦つき
し石の間を間を音たてて流る

砂りてはその赤土に棉植ゑて
草けづるなるたたかひあはれ
ゆ
正月のものにと買ひ來しサラ
メの玉に小蟻が長き列をつく
り

金子 秀雄

血眼で唯々夢中で稼ぎしが
に晴れてまた降る霧雨かなし
今日ふと歌の我にもどれり
何者も來ぬ間を希ふてあるご
とし蟻は羽捨て土はいそぐ
いろ〳〳の小鳥が落とす密柑
の樹下の蔭はありがたきかな
老母曰く 上向きの臍の
子は親孝行なりと 即ち
下向きの臍を持ち居りこの子
等は親に叛きていつかゆくべ
みづおちのなきまでに張りし
八き腹膨たして子等は我に見
せける

眞青